

北九州市立小倉母子寮 指定管理者検討会 会議録

- 1 開催日時 令和元年10月1日(火) 13:00~15:00
- 2 場 所 北九州市役所本庁舎 112会議室
- 3 出席者 (検討会構成員) 文屋典子構成員、平位和子構成員、
松尾まゆみ構成員、松木摩耶子構成員
(事務局) 子ども家庭局子育て支援課長、家庭支援係長、
子育て支援課担当職員

4 会議内容

- 当日の配布資料・議事次第等について、事務局より説明
- 検討会の位置づけ及び選定基準、採点の注意事項について、事務局より説明
- 構成員の互選により、座長を選出
- 応募団体からの提案概要に対してヒアリングを実施

(構成員) 現在小倉母子寮で勤務している人を雇用することについては確約しているのか。

(応募団体) 当法人に勤めていただく内々の打診はもらっている。

(構成員) 母子寮は特別な配慮が必要な方が入所する施設である。現在母子寮に勤務している職員で、今後も母子寮で働きたいという方がいればぜひ雇用を継続してもらいたい。

(応募団体) 母子寮での勤務にやりがいを感じている人も多く、その経験値は大変重要で心強い。そのような方々から雇用の継続希望をいただいている。

また、当法人にも保育士資格を有している者もおり、加えて介護福祉士の資格を有している職員が多く、保育経験もある。

(構成員) 今まで高齢者等福祉事業をしてきたと思うが、母子寮は母親へのケアが大事となる。

(応募団体) 法人も変わり職員も変わるとなると入所者の不安につながる。現在の施設では入所者を交えたカンファレンス、プラン作りを年2回行っている。母子寮でもしっかり運営してサポートしていきたい。

(構成員) 母子寮は養護老人ホームとは違うという点をしっかり意識してもらいたい。また、緊急一時保護になると、県外や市外に連れて行かないといけないこともある。そのあたりを考えられる支援員となってもらいたい。

(応募団体) 市外から入所する方も多いと聞いている。生活面や居住場所についても不安を感じていると思う。しっかりケアして支援していきたいと考えている。

- (構成員) 人員配置計画書の中の心理療法担当職員の配置を予定しているが、心理担当をする職員については法律上も曖昧だが、基本的には大学で心理学を卒業した者との位置づけになっているが、カウンセラー2級は民間団体の養成講座で学べば取れる資格と社会的には位置づけられている。新規の国家資格ができており、高度な知識と技術が必要な、より難しい心理的行為に対応が必要となるため、条件を厳しめに設定した方が良いのではないかと思う。
- (応募団体) 入所者との関係性が変わるのを避けるため、予定としては現在担当しているカウンセラーに継続してお願いしたいと考えている。その方がカウンセラー2級だったと思うが、今のご意見をいただきながら今後検討してまいりたい。当初は入所者との関係上、嘱託医と心理療法担当は変えないでいこうと考えている。
- また、当法人の職員の中にも産業医の医者がおり老人保健施設もあるため、打ち合わせしてまいりたい。
- (構成員) 安全面について、物理的なセキュリティー面と個人情報の管理についてはどう考えているか。母子寮は外に絶対漏れてはならない情報。そのあたりの危機管理をどのように考えているか。
- (応募団体) 個人情報については、提案書2(6)に記載しているが、委員の指摘を鑑みて、今後とも十分プライバシー保護、個人情報管理については徹底していきたい。
- (事務局) 事務局から施設の物理的な安全面について補足させていただく。小倉母子寮、八幡母子寮について、数年前に自動ドアを設置し、カメラとインターフォンで来所者を確認してロックを解除するシステムを導入した。
- (構成員) 法人の決算書を見ると人件費が大幅に増加している。法人全体として財政状況が人件費で圧迫される可能性があると思われるが、人件費の推移をどう見ているか。
- (応募団体) 人件費金額が上がったのは介護給付金の額がすごく高くなっていることが大きな原因である。膨らんでいるように見えるが、実質はそんなにはない。見方によっては増えて見える。
- 母子寮の措置費は人勧によってスライドするが、市としっかり打ち合わせをしていきたい。
- (構成員) 服務規程の中にハラスメントに関する規定があった。職員間のハラスメントについては規定されているが、利用者との関係でのハラスメント規定が盛り込まれるといいと感じた。
- (応募団体) 現在のハラスメント規定は管理規定のようなものである。母子寮のハラスメント規定については、職員の心得として強化してしっかり作っていかないといけないと考えている。

- 質疑応答終了。応募団体退席。
- 構成員は、提案概要のヒアリングと質疑応答を受けて各自得点を記入。
- 合計得点集計・発表し、提案についての意見交換及び評価、総合的な所見を発表。

[総合的な所見]

- ・ 初めての母子寮の指定管理であり、入所者のケアの厳しさに対応できるか不安はあるが、現在のスタッフが残ることで、現在の支援内容が踏襲されるかと思う。
- ・ これまで法人が実施してきた、高齢者や障がい者のケアとは異なる分野を受け持つことになり大変だろうと思われるが、がんばってもらいたいと期待している。
- ・ 母子寮運営の実績がないので、市がきめ細かにフォローしてもらいたい。
- ・ これまでの高齢施設の管理・運営の実績は信頼できる。現在の母子寮のスタッフの知識や経験値をどれだけ活用していけるかが、今後のポイントとなると思われる。
- ・ 以上のことを踏まえて、指定管理者として、市の要求水準を満たしており、一定の能力を有している。